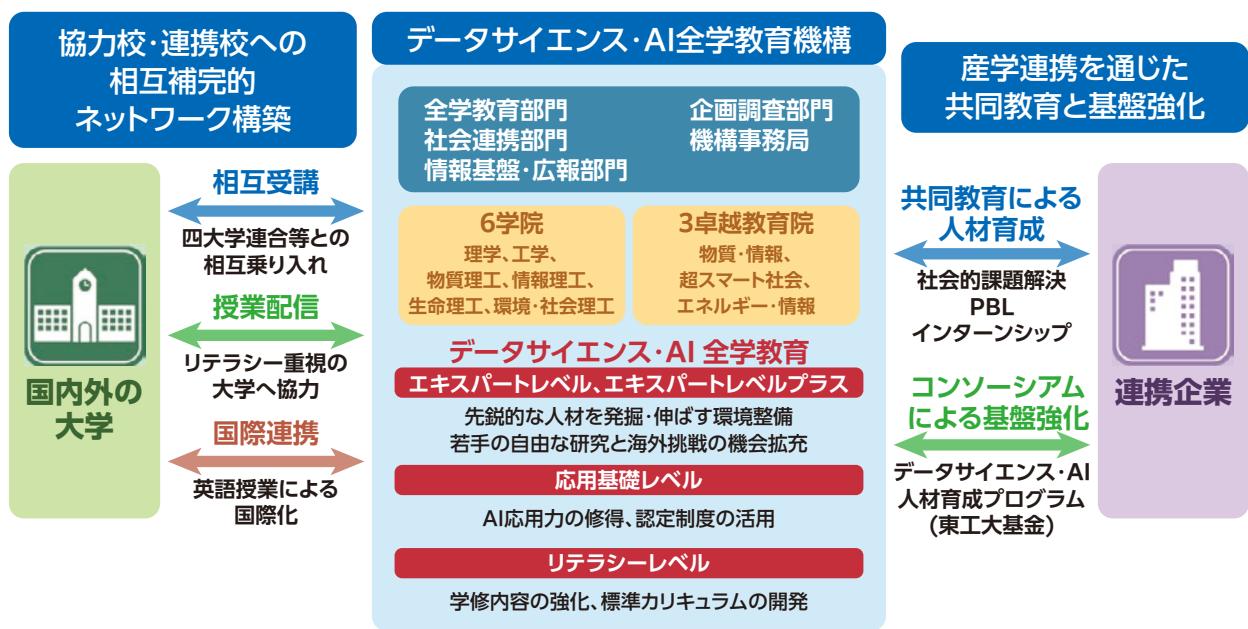


2. データサイエンス・AI全学教育機構の概要

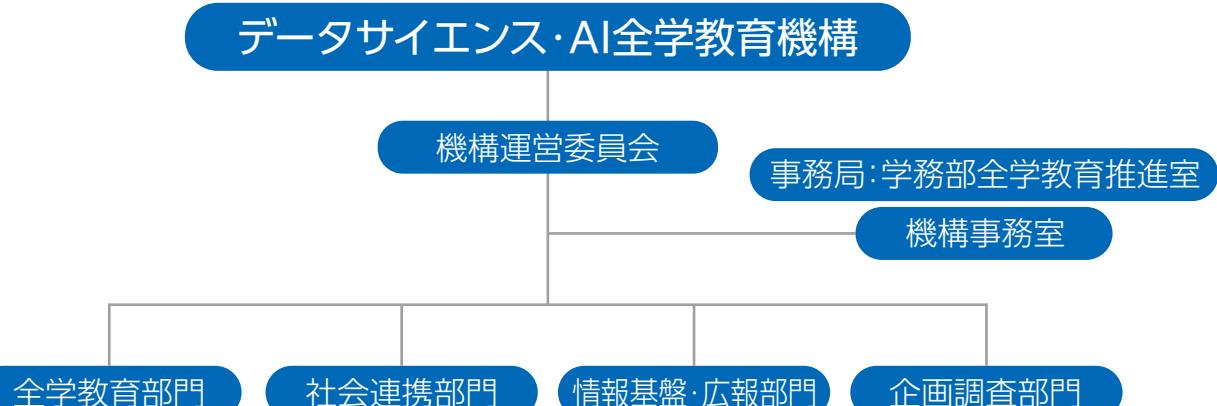
2.1. 目的

東京工業大学(以下、本学)では、2019年度から開始した「データサイエンス・AI大学院全学教育」による修士課程・博士後期課程学生向けの教育を皮切りに、2020年度からは学士課程を対象とした科目も設置し、データサイエンス・AI全学教育プログラムを行ってきました。データサイエンス・AI全学教育機構(以下、本機構)は、(1)学士課程から大学院まで一貫した全学教育プログラムの拡大・推進、(2)社会的課題解決能力を身につけるための企業連携、(3)国内外の他大学への授業配信などの連携、の3つの柱を中心とし、2022年12月1日に設置されました。本機構は、既に存在するデータサイエンス・AI全学教育プログラムをさらに発展させ、トップ人材を育成するためのプログラムを確立し、高度なデータサイエンスや人工知能(以下、DS・AI)教育を国内外の他大学へ展開することで、専門分野の境界を越えて課題解決・教育指導を行う「共創型エキスパート」人材を育成することを目的としています。



2.2. 実施体制

本学の6学院および3卓越教育院、複合系コース等から選出された委員から構成されるデータサイエンス・AI全学教育機構運営委員会のもとに、全学教育部門、社会連携部門、情報基盤・広報部門、企画調査部門の4部門および機構事務局を設置し、その相互の連携のもとで全学教育プログラム等を運営し、領域横断的に社会的課題を解決できる「共創型エキスパート」人材の育成をめざします。また、2023年4月には事務局学務部に全学教育推進室が設置され、機構事務室と緊密に連携しながら、機構事業の推進を行っています。



データサイエンス・AI全学教育機構の構成